

川崎市農政情報誌

～ 第 5 号 ～

かわさきそだち

～ 『農』のあるライフスタイルをめざして～

発行 川崎市農業振興センター

〒213-0015

川崎市高津区梶ヶ谷 2 - 1 - 7

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464



ファーマーズクラブは、市民の方々に農作業体験及び農業青年との交流を通じて、都市農業を身近に感じていただくものです。



ファーマーズクラブでは私たち川崎市農業青年協議会がかわさきの農業を御案内します。

川崎市農業青年協議会は、市内の農業後継者で構成する、これからの川崎の農業を支えていくパワーあふれるグループです。

会員はそれぞれ野菜、花、果樹、植木などを栽培しています。

～今後の活動予定～

次のイベントで農産物の直売を行います。

畜産まつり 9月27日(土) 梶ヶ谷第一公園

Buyかわさき 11月23日(日) 川崎地下街アゼリア

～ぜひ、お越しください。

ファーマーズクラブ参加者を募集します。

開催日時：平成 20 年 10 月 4 日 (土) 9:00～14:30

対象：市内在住の家族 40 名で農作業のできる方

内容：青年協議会会員の畑の見学及び簡単な農作業体験 (バスでの移動あり)

参加費：大人 1,000 円、子供 (中学生以下) 500 円

応募方法：往復はがきに氏名、住所、電話番号及び参加する家族全員の氏名、年齢 (学年) を記入し、9 月 11 日 (木) (必着) までに郵送してください (応募多数の場合は抽選となります)

応募先：川崎市高津区梶ヶ谷 2-1-7
川崎市農業振興センター農業振興課

ファーマーズマーケット「セレサモス」がオープンしました！！



2008年4月26日に麻生区黒川地区にファーマーズマーケット（大型農産物直売所）「セレサモス」がオープンしました。同施設内には、農業情報の提供及び、農業者と都市住民との交流拠点として「農業情報センター」が設置されました。川崎市では、JAセレサ川崎と共同で当施設の運営を行っていきます。6月9日～10日には「うめフェア」があり、梅の加工方法等について講義が行われました。今後も様々な農業情報発信のイベントを予定していますので、セレサモスで新鮮野菜を購入する際には、ぜひお立ち寄りください。



各賞の受賞者

施設野菜立毛共進会（後期） 4月8日（火）

JAセレサ川崎組合長賞 立川 敏夫（トマト・桃太郎ヨーク）麻生区黒川

（敬称略）

ウメ立毛共進会 5月8日（木）

市長賞 岸 勝明（玉英・南高・その他）多摩区栗谷

園芸展覧会植木品評会 5月23日（金）

県知事賞 関谷 芳夫（盆栽鉢物・さつき）多摩区菅北浦

花の品評会 5月23日（金）

県知事賞 名古屋 徹（枝物・キンポウジュ）宮前区馬絹

果菜類立毛共進会 6月13日（金）

県知事賞 森 和浩（キュウリ・夏ばやし）高津区久末

県知事賞 永井 敏雄（トマト・桃太郎エイト）宮前区神木本町

露地切花立毛共進会（夏の部） 6月23日（月）

特選 吉田 恵一（小菊・赤）宮前区馬絹

ナス立毛共進会 7月11日（金）

市長賞 持田 栄一（千両二号）宮前区東有馬



イベント・募集案内

平成20年度ナシ・ブドウ品評会を開催いたします。

期 日 平成20年9月5日（金）

場 所 川崎市農業技術支援センター（多摩区菅仙谷3-17-1）旧フルーツパーク

一般観覧 午後1時30分から午後2時30分 即売 午後2時30分から

平成20年度畜産まつりを開催いたします。

期 日 平成20年9月27日（土）（荒天時28日（日）順延）

午前10時～午後3時

場 所 梶ヶ谷第一公園（東急田園都市線梶が谷駅徒歩10分）

イベント 市内で飼育されている家畜の展示、畜産共進会（卵の審査会）

卵のつかみどり、目方当てクイズ、ふれあい動物園、野菜の直売など

第44回川崎市園芸展覧会園芸生産物品評会を開催いたします。

期 日 平成20年11月上旬（詳細未定）

場 所 セレサ川崎農業協同組合本店（東急田園都市線宮崎台駅徒歩5分）

*詳細につきましては10月21日号の市政だよりに掲載予定です。



掲 示 板

新・川崎市農業委員 決定

7月6日(日)に川崎市農業員会委員一般選挙が行われ、選挙による新しい農業委員20名が決定いたしました。選任委員の農協推薦1名、議会推薦4名と合わせた計25名の新しい農業委員は次の方々です。

(敬称略・五十音順)

氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区
会長 小林 騰	栗木	岸 健市	栗谷	原 壽男	下小田中
会長職務代理者 小泉 淳三	千年	小嶋 靖夫	菅仙谷	堀添 健	議会推薦
井上 義雄	東有馬	小林 庸男	農協推薦	三田 茂	梶ヶ谷
太田 毅	生田	鈴木 彬道	長尾	三富 竹雄	坂戸
片山 秀夫	菅生	長瀬 和徳	片平	森 勝夫	久末
河合 亀蔵	宿河原	長瀬 和巳	井田杉山町	山崎 直史	議会推薦
川名 昇	野川	橋本 勝	議会推薦	山田 馨	平
		長谷川 瑞英	岡上	吉垣 忠	王禅寺
		花輪 孝一	議会推薦	吉沢 明	中野島

農 業 技 術 情 報

農薬に頼らない病害虫の防除方法について

農薬の多用は、病害虫に抵抗性を発達させ、逆効果になる恐れがあります。また、住宅に近接した市街地の農地では、農薬の使用が制限される場面もあります。ここでは、農薬に頼らない防除方法を紹介します。

【肥培管理】作物を健康に育てるため、株間を広くとり、間引きや剪定等により適度な日照と通風を確保してください。水や窒素肥料の与えすぎは、作物を軟弱に徒長させますので注意が必要です。また、同じ場所で同じ作物を何年間も栽培し続けると、土壤中の肥料分が偏ったり、病害虫が多発して、作物の生育が悪くなることがあります。

【発生源の除去】被害部の除去や害虫の捕殺は、面倒な作業ですが、翌シーズンの発生源を減らすことができますので有効な手段です。

【抵抗性品種】作物によっては、病害虫の被害を受けにくい抵抗性品種が開発されています。また、抵抗性台木に接木することにより、根から被害を受ける土壌病害を防ぐことができます。

【天敵】アザミウマ類やハダニ類の防除のため、これらの天敵を製剤化した生物農薬が利用されています。また、作物の上に無害な菌をあらかじめ定着させておき、うどんこ病や灰色かび病を防除する資材も市販されています。

【防虫ネット】目の細かい防虫ネットを用いて作物を被覆したり、施設の開口部を覆うことにより、害虫の飛来を防ぐことができます。

【光の利用】銀色のマルチシートを張ることによりアブラムシ類やコナジラミ類の飛来を防ぐことができます。また、コナジラミ類は黄色に、アザミウマ類は青色に引き寄せられますので、これらの性質を利用した粘着トラップが市販されています。

これらの防除方法を組み合わせることにより、農薬の使用量を減らしたり、農薬を使用する場合にもその防除効果を高めることができます。

【問い合わせ先 農業技術支援センター 945-0153】



防虫ネットによる被覆



粘着トラップによる捕殺



お宅訪問!!かわさきの農家

⑤

今回は、高津区新作の「福田牧場」を訪問しました。

「福田牧場」は川崎市内では5軒となった酪農家の1つで、高津区の住宅地の中で13頭の乳牛を飼育し、毎日約300の牛乳を出荷しています。

経営者の福田努さんは大学卒業後昭和60年頃から、父親の下、酪農経営に携わりました。当時は高津区内でも多くの農家が畜産を行っていましたが、周辺の宅地化に伴い「臭い」の苦情が増え減少していきました。福田さんは住宅地で酪農を続けるため、環境整備や地域住民との交流にも力を入れているそうです。



牛と福田さん



移動動物園にて

また、花と緑の市民フェアや畜産まつりなど川崎市のイベントでもおなじみの「移動動物園」は、結婚を機に、酪農をしながらできる仕事はないかと考えて始めたそうですが、今ではウシの他に、ポニー、ヒツジ、ヤギ、ブタ、ウサギ、モルモット、カメ、アヒル、ヒヨコなど多くの動物を飼育し、保育園や幼稚園、小学校などに出張しています。移動動物園では動物たちに餌をあげたり、さわったり、抱っこしたりすることができ子供たちに大人気です。

そんな福田さんの夢は「牛乳を使った加工を行うこと」と、今後の意気込みを熱く語ってくれました。

“かわさきそだち”売ってます!

直売所紹介

市に直売団体として登録されている直売所を南部から順に紹介していきます。

今回は、**菅直売所**です。

今はナスが旬で販売されています。

場所 JAセレサ川崎菅支店前

住所 多摩区菅2-4

販売日 毎週月～土曜日 10:30～12:00

*販売日、時間は変更になることがあります。

連絡先 JAセレサ川崎柿生支店

電話 044-988-1131



かわさきそだちでクッキング

ゴーヤの佃煮

材料

ゴーヤ	500g (3本位)
砂糖	100g
しょう油	60cc
みりん	50cc
酢	25cc
いりゴマ	大さじ1、かつおの削り節 15g



作り方

- 1 ゴーヤは縦半分に切り、種とワタを取り除き横に3～4mm位の小口切りにする。
- 2 たっぷりの湯に切ったゴーヤを入れ、熱湯の中をさっと通し、ザルにあげる。
- 3 鍋に調味料と2のゴーヤを入れて、中火で煮る。
- 4 いりゴマ、かつおの削り節を入れ、かき混ぜながら煮汁が無くなるまで煮詰める。

レシピ提供：川崎市女性農業担い手の会 あかね会

【マルチ】根覆い、敷きわらのこと。農作業の根ざわをわらやビニールなどで覆う栽培法をマルチングといい、水分の蒸散、雑草の抑制、地温を上げることで生育促進効果などがあります。

知って得する農のことは

「農」に関するご意見・ご感想や農のある風景(写真)等、皆様からのお便りをお待ちしております。郵送、ファックスもしくはメールにて送付してください。(〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷2-1-7 JAセレサ梶ヶ谷ビル2階 川崎市農業振興センター ファックス 044-860-2464 Eメールアドレス 28nogyo@city.kawasaki.jp)

また、『お宅訪問!!かわさきの農家』の取材にご協力いただける方も随時、募集中です。

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasakinonogyo.htm>
(『かわさきの農業』で検索)